



2020年度（2021年3月期）

第3四半期決算 補足説明資料

2021年2月12日

ぴあ株式会社

東京証券取引所市場 第一部

証券コード：4337

[1]2020年度 通期業績の想定について

1)ライブ・エンタテインメント市場動向

2)通期業績の想定

[2]財務状況について

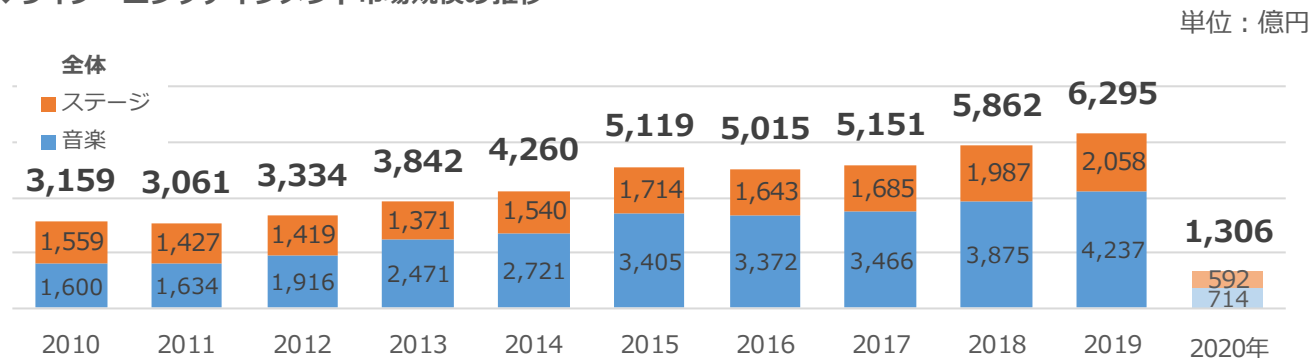


1) ライブ・エンタテインメント市場動向

2020年のライブ・エンタテインメント市場規模*の試算値

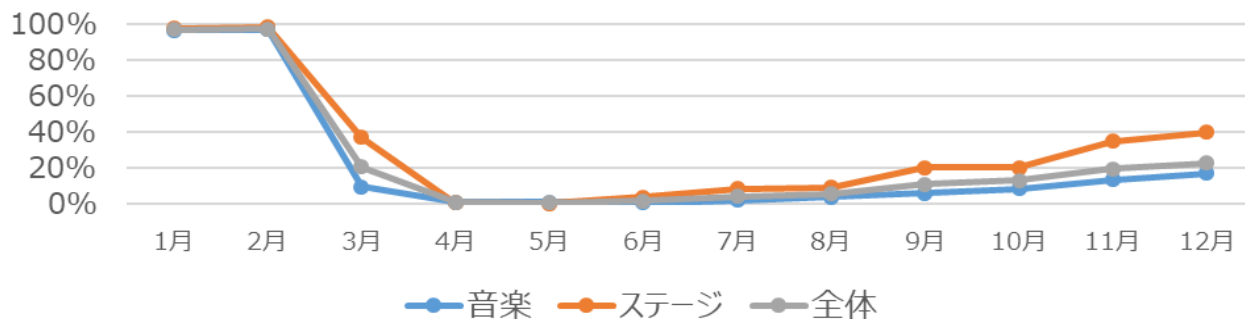
(10月27日付 ぴあ総研による試算値：イベントの制限緩和の遅れを踏まえ、6月30日時点の試算値を更新したもの)

◆ライブ・エンタテインメント市場規模の推移



前年2019年と比較して
約8割が消失する見通し

◆2020年のライブ・エンタテインメント市場規模の前年同月比(%)



イベント制限緩和の遅れが
特に音楽ジャンルに影響

* ライブ・エンタテインメント市場規模 = 「音楽コンサートとステージでの、パフォーマンスイベントのチケット推計販売額の合計」

2) 通期業績の想定

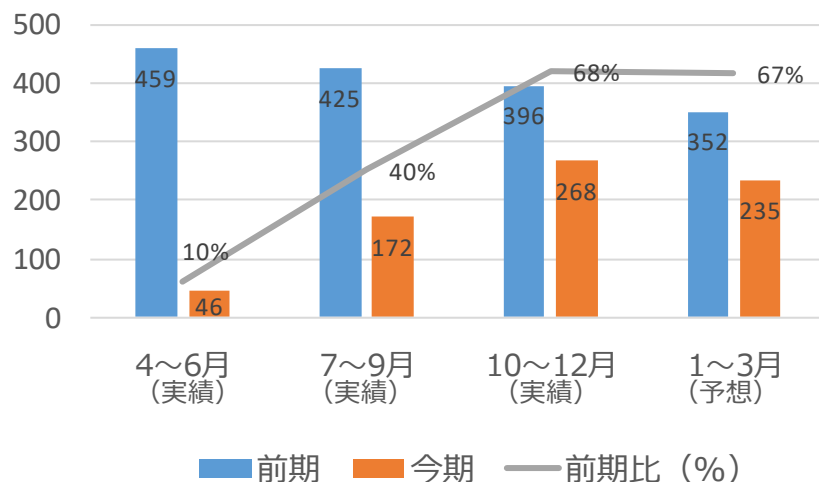


2021年3月期連結業績予想における四半期毎の推移

- ・ 本日発表の通期業績予想は、売上高720億円、営業利益▲60億円、当期損失▲65億円。
- ・ 第3四半期までは、集客制限の緩和によるチケット売上の回復に伴い、市場全体も回復傾向にあったものの、感染拡大を受けた集客制限の再延長、再度の緊急事態宣言に伴うイベント開催制限の強化により、第4四半期の1-3月期の業績は、当初の目論見を下回る着地を避けられない見通し。
- ・ GoToイベントやJ-LODLive等による支援策は実効性に乏しく、業界全体に対する早急な支援・助成が求められる状況。

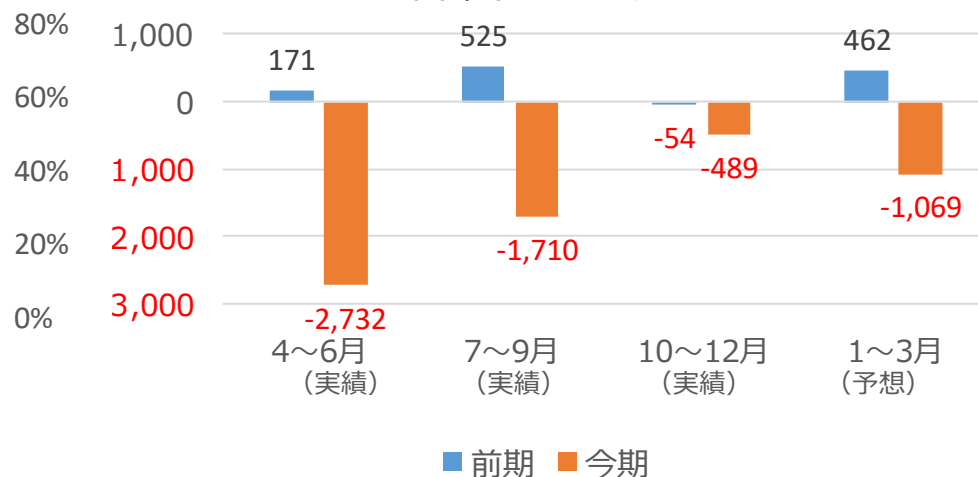
単位：億円

売上高の想定



単位：百万円

営業利益の想定



[2]財務状況について



- ・ キャッシュ残高は、前期末からの借入継続、及びチケット売上の回復傾向により、引き続き問題のない水準にて推移中。
- ・ 中長期的な観点からの財務基盤の強化に向け、自己株式の処分(第三者割当・RS)による自己資本の増強、資本性劣後ローンやシンジケートローン契約の締結による借入金の長期安定化を実現。

単位：百万円	前期末	当期 第3四半期末	備考
現金及び預金	23,869	13,338	・第3四半期に入っても、100億円を超える水準で安定的に推移。 ・12月末までに ①第三社割当による自己株式の処分により22億円 ②子会社4社に対して資本性劣後ローンを中心とした長期借入9億円 を調達。
有利子負債	12,599	24,684	・上記②に加え、既存の短期借入金145億円を、主要金融機関との間で、総額150億円の長期借入金主体のシンジケートローンに切り替える契約を締結(2021年1月末に実行済)。
純資産	6,019	3,514	・上記①ならびに全社員向けの譲渡制限付株式(RS)の付与により、12月に26億円の自己資本増加。